

「阿見観光ガイド」の安部次男さん、門馬三和子さん、笈田聡さん（写真左から）



まちの魅力再発見

あみっぺが行く

こんにちは、あみっぺです！
今回は「阿見観光ガイド」の
皆さんに、町に残る
海軍の史跡について
教えてもらいます！



会長を務める安部さん

阿見町は観光地としてはまだ発展途上ですが、調べてみると深い歴史があります。一人でも多くの人に阿見町の歴史を知ってもらい、後世へ語り継いでいってほしい、という思いで活動しています。



分かりやすく説明するために、リハーサルをしているよ！



幹事を務める笈田さん

入会に必要な資格は特にありません。「阿見町をもっと知りたーい！」「阿見町の情報をみんなに発信したい！」と思っている方ぜひ気軽にご入会ください！

阿見観光ガイドとは？

平成23年7月に「あみっぺ観光ボランティアガイドの会」として発足し、令和元年度に「阿見観光ガイド」に名称を変更しました。
現在12人で活動するガイドの皆さんは、有志で阿見町や周辺地域の自然・文化・歴史・物産について学び、町の史跡や四季折々の景観をボランティアで案内してくれます。
発足以降、案内したお客さんは延べ1800人以上！こんなに実績があるんだね！案内してもらおうのが楽しみだなあ☆

阿見観光ガイドに入るには？

入るには？

「海軍のまち・阿見」の足跡

都市整備が進む中で、今も残る当時の史跡は、「海軍のまち」がそこにあったことをひっそりと物語っています。



朝の連続テレビ小説「エール」の中でもその様子が描かれ、話題となった「予科練」：阿見町はかつて霞ヶ浦海軍航空隊、そして予科練の設置により、「海軍のまち」として全国に名を馳せました。
町内には予科練や海軍の施設がありました。後、教育や医療の機関へと変わっていきました。茨城大学農学部や東京医科大学茨城医療センターもその一つです。



海軍施設の位置図

史跡が残る、茨城大学農学部構内へ！



海軍機の操縦学生が方位を正しく理解するための「方位盤」。「山形」「秋田」などの地名が彫られているよ！

軍旗や皇族旗を掲げていた掲揚塔。終戦まで使われていたそうです。



霞ヶ浦海軍航空隊第一士官宿舎に使用されていた階段の親柱。現在は構内の「霞光荘」に移設されています。西洋風の彫刻が特徴だよ！



現在の茨城大学農学部がある場所には、かつて霞ヶ浦海軍航空隊の本部が設置されていて、海軍航空機の操縦、整備等を行う人材の育成を行っていました。

旧中央格納庫と有蓋掩体壕を見てきたよ！

赤レンガ造りの旧中央格納庫。大正時代につくられ、戦闘機を格納していたそうです。現在は井関農機(株)の整備場になっていますよ。



空襲から飛行機を守るためにつくられた有蓋掩体壕。霞ヶ浦海軍航空隊飛行場の周辺には二十一基の掩体壕があったみたいだけど、今も残っているのはこの一基だけ。貴重だね！

豆知識

今の阿見小学校の正門も、霞ヶ浦海軍航空隊本部の正門を移設したものなんだよ！

ガイドの皆さん、ありがとうございました！
阿見観光ガイドについてもっと知りたい、案内してもらいたい、と思った人はホームページをチェックしてみよう！



「阿見観光ガイド」
ホームページ

<https://plami.jp/category/guide>



※現在茨城大学構内は入構制限をしており、許可なく立ち入ることができません。

※旧中央格納庫および有蓋掩体壕は、民有地内にあるため、見学には阿見観光ガイドの同行が必要となりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、受け入れを休止する場合があります。

次は「3月号お知らせ版」
で会おうね！

「阿見観光ガイドと予科練の史跡」
をテーマとした動画を
配信しています！

阿見町公式 YouTube チャンネル



「予科練平和記念館」には、予科練生や当時の阿見町のリアルを伝える貴重な資料が展示されています。予科練生の制服の「七つボタン」にちなんだ七つの部屋が、平和の大切さを語りかけます。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前予約制にてご入館いただいています。

